

ドッジビーって?

ゲームでつかうディスク

ドッジビーはウレタンでできたフリスビー型の柔らかいディスクを使用します。

ドッジビーのディスクの大きさは次の3点が標準です。

- ・ 直径270mm
大きめだから、小さな子供でも捕りやすい!
 - ・ 直径235mm
ジャストサイズで投げやすい
 - ・ 直径200mm
スモールサイズで飛びがいい
- 価格も1個1,000円から位と手ごろです。



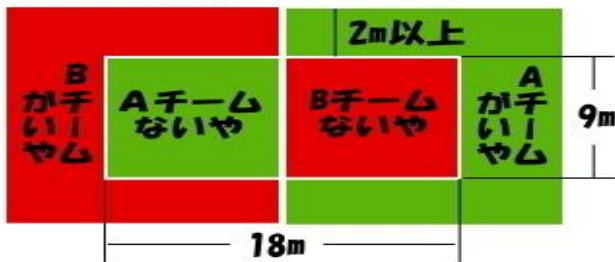
<<試合(しあい)でよくつかわれるドッジビーディスク>>
直径(ちよっけい)270mmのドッジビー270モデルがよくつかわれています



ドッジビーのコート

<<コートのおおきさ(おおきさ)>>

<<コート>>



1チームの人数(にんずう)・ゲームの時間(じかん)

<<1チームの人数(にんずう)>>

- 1ゲームの選手人数(せんしゆにんずう)・・・13名
- 外野の人数(がいやのにんずう)・・・3名以上

- *選手交代(せんしゆこうたい)はセットごとに行います。
- *ゲームの途中(とちゆう)で交代(こうたい)はできません

<<ゲームの時間(じかん)>>

- 1セットの場合(ばあい)
1ゲーム・・・6分(ふん)
- 2セット以上(いじょう)の場合(ばあい)
1セット・・・5分(ふん)
休憩(きゆうけい)・・・2分(ふん)

外野の配置(がいやのひとのいち)



○: がいや

ドッジビー試合（しあい）基本（きほん）ルール

ゲームをするために必要（ひつよう）な基本（きほん）ルールです。
ルールをまもって楽しく（たのしく）ゲームをしましょう♪



- 1 ゲームの選手人数（せんしゅにんずう）・・・13名
- 2 外野の人数（がいやのにんずう）・・・3名以上
- 3 選手交代（せんしゅこうたい）はセットごとに行います。
*ゲームの途中（とちゅう）で交代（こうたい）はできません。
- 4 1セット・・・5分（ふん）
休憩（きゆうけい）・・・2分（ふん）
- 5 ゲームの開始（かいし）はチームのキャプテンがジャンケンをして
最初（さいしょ）にディスクをなげるほうをきめます。
- 6 内野（ないや）のひとがとんできたディスクがあたったときはアウトです。
アウトになったときは、手をあげて外野（がいや）にいきます。
- 7 外野（がいや）のひとがあいてチームの内野（ないや）のひとにディスクを
あてたときは、じぶんの内野（ないや）チームにはいります。
- 8 試合終了後（しあいしゅうりょうご）残（のこ）った内野（ないや）の
ひとの数（かず）が多い（おおい）ほうが勝ち（かち）です。
- 9 同点の場合（どうてん）は、えんちょうせんをおこない、
さきにひとりあてたほうを勝ち（かち）とします。

かちまけのきめかた

- 1 試合終了後（しあいしゅうりょうご）残（のこ）った内野（ないや）のひとの
数（かず）が多い（おおい）ほうが勝ち（かち）です。
- 2 同点の場合（どうてん）は、えんちょうせんをおこない、さきにひとり
あてたほうを勝ち（かち）とします。



ファール（やっちはいけないこと）



ゲームちゅう、ファールをやった場合（ばあい）は相手（あいて）の
内野（ないや）または外野（がいや）のディスクになります！
<<ファール>>

- 1 オーバーライン・・・ディスクをもった選手（せんしゅ）がラインをふんだり、
こえたりする。
- 2 ホールディング・・・相手（あいて）チームのエリアにあるディスクにさわる。
- 3 タッチザポディ・・・相手の選手（あいてのせんしゅ）とからだか
接触（せつしょく）してはいけません。
- 4 ダブルタッチ・・・アウトになった選手（せんしゅ）が外野（がいや）へ
でるときディスクをさわる。
- 5 オーバータイムス・・・きめられた回数（かいう）より多く（おおく）パスを
する。
- 6 テクニカルファール・・・審判（しんぱん）や相手の選手（あいてのせんしゅ）
に失礼な態度（しつれいなたいど）をしたとき。
- 6 テクニカルファール・・・審判（しんぱん）のいうことにしたがわないうとき

※細かいルールはドッジビーが楽しく行われるように、選手の年齢などを考慮して、
大会主催者によって決められます。